

第2回 総合計画審議会 会議録

召集年月日	平成27年10月23日(金)			
召集の場所	白馬村役場2階 201・202会議室			
開閉会の日時	開会	午後2時00分		
	閉会	午後4時35分		
出席者数	20名出席			
出席者	区分	役職名	氏名	出席
	教育委員会委員	白馬村教育委員会委員(会長)	伊藤 公一	○
	公共的団体の役職員	白馬村体育協会会長(副会長)	山岸 忠	○
	教育委員会委員	白馬村教育委員会委員	塩島 弘之	○
	農業委員会委員	白馬村農業委員会会長	松沢 正猛	○
	公共的団体の役職員	白馬村民生児童委員	矢口 緑	
	公共的団体の役職員	白馬商工会長	杉山 茂実	○
	公共的団体の役職員	区長会会長	山岸 弘明	○
	公共的団体の役職員	白馬村消防団団長	横山 義彦	○
	学識経験者	まちづくり白馬友の会会長	松澤 恵也	○
	学識経験者	神城婦人会会長	田中 みつる	○
	学識経験者	北城婦人会会長	眞島 宣子	○
	学識経験者	白馬村スキークラブ会長	太谷 陽一	○
	学識経験者	白馬村シニアクラブ会長	吉澤 豪俊	
	学識経験者	大北農協白馬支所長	内川 武文	
	学識経験者	白馬村索道事業者協議会会長	駒谷 嘉宏	
	学識経験者	白馬村観光局長	北村 興二	○
	学識経験者	白馬村ボランティア連絡協議会会長	太田 洋子	
	学識経験者	特別養護老人ホーム白嶺所長	南沢 裕子	
	学識経験者	白馬村金融団幹事長野銀行白馬支店長	宮島 賢次	○
学識経験者	白馬村建設業組合長	塩島 正		
学識経験者	観光地経営計画委員	ケビン モラード		
一般公募	公募委員	宮脇 哲也	○	

	一般公募	公募委員	藤田 直子	○
	一般公募	公募委員	富山 正明	○
	一般公募	公募委員	高田 愛史	○
		株式会社 studio-L	小山 弘二	○
	事務局	白馬村役場総務課 課長補佐	松澤 孝行	○
	事務局	白馬村役場総務課 企画係長	太田 俊社	○

1. 開 会

【副会長】

開会を宣言した。

2. あいさつ

【会長】

皆さんこんにちは。例年になく暖かい穏やかな日が続きますけども、紅葉のほうは徐々に東山へきて、確実に秋は深まっている気がします。これから徐々に冬の準備という忙しい中、議員の皆様ご参加いただきましてありがとうございました。

今月に入って、住民の皆さんの意見を聞くということで、住民ミニキャンプの開催を2回程したようでございます。時間が限られた中での取り組みになりますので大変ご苦勞をかけますが、よろしくお願ひします。

※ 協議事項の前に2つ程質問（ 委員 ）

1、委員の構成について

資料の中の第4次総合計画の最後のページに村会議員が3名いるのに、今日は会議の場にいないのでどうしてか？

（事務局）

A、審議会の議会議員がいない事について、今回決めていただく総合計画の大本になる基本理念ですが、このことについては議会の議決事項ということで条例で定めさせていただきました。議会の議決事項の審議に議会議員が入るのはどのようなものかと、議会事務局にも話をさせていただきましたが、議会の方針としても審議会になるべく議員は参加しない方向でということでありましたので、今回については議員を除かせていただいたということでもあります。

（ 委員 ）

Q、それはわかりますが、前回の資料の2の中に白馬村計画審議会条例、そこにきちんと議員とうたわれているので、それはどうなるのでしょうか？

A、そのあたりも条例上検討しましたが、議会の話の中で補足ということで話をさせていただいたので今回は議会の方針等あり、確かに条例の中では含まれているが今回は除かせていただくと

いうことで話をさせていただき、決めさせていただきました。

Q、そうすると条例は改正しないのですね。これは大事のことです。なにかと条例にそって説明されるので。

2、白馬村観光地計画のメンバーに4人でているが、それぞれの整合性について、あちらも精力的にやっているがダブるところがあるのではないか、そのあたりどうかんがえればいいのかお願いします。

A、観光地経営計画の整合性に関してはこちらから計画を立てる前から話がでており、今回の経営計画審議の議員に加わっていただくことですが、観光課と関係を取りながらこれから基本計画と整合性をもたせていかなければならないので、そのあたりは情報を密にして、計画の保守については本庁課長会議を中心として、観光課を通じて照会いただきながら整合性な計画をたてていきたいと思っています。

Q、計画自体の中では、それは検討しないということですか？

A、当然こちらで基本計画を練っていくので決まっていくし、基本計画の案は委員会にかけ策定委員会の中でこちらに出していただきながら、情報の提携など、しくみはまだですがうまいこといければと思っています。

3、観光関係ということではなくて、現にはしっている両性計画がいくつかあり、期限がまだ何年も続くのがあるが、それと総合計画の関係というのはどうなるのか？

A、観光の各種行政計画については、新しい計画の中で大きく変更していくことであれば、現行のものも必要に応じて見直していく必要もあると思うので、各担当課で検討させていただき、内容を確認して必要に応じてそれぞれ見直しすることになると思います。

Q、観光地経営計画でやってきたことはどうなりますか？総合計画とはトップの計画なので、観光のことは当然繁栄させられるということですよね？

A、そうです。

3. 協議事項（伊藤会長が進行を務める）

最初の質問に関しては議会というより、なぜ村会議員が入っていないのかということでしたが今説明された通りです。あとは整合性の問題もありますが広範囲のものであるので、いろいろな要素がはいってきますのでそれぞれみなさんの意見をいただきながらと思いますのでよろしくをお願いします。それではこれで議事に入らせていただきます。

(1) 白馬村版総合戦略と白馬村第5次総合計画策定の進め方について

【会長】

事務局に説明を求めた。

【太田】

資料の第1号をご覧ください。総合戦略と総合計画の策定のすすめについてつに分けて議事を進めるのかとわかりにくいので事務局で整理しました。

まず中期的な展望として、総合計画は28年度～37年度、総合戦略は27年度～31年度ということになりますが、総合戦略の中の人口の現状分析というのがあります。白馬村の総合戦略はあくまでも人口の増減が中心なり人口の現状分析が必要になってきますが、とうぜん総合計画の中で必要になってきます。人口の現状分析については総合計画では37年度および中間の32年度、総合戦略では31年度、現状でいくとどのようになっているかというのを総合戦略の中で進めていくのですが、総合計画の中でも進めていくということになります。

2番として、そのままの現状でいくと人口が減少してくるので、人口の将来展望として目標指数を設定します。総合戦略では5年後、総合計画では延長して中間の32年度、37年度。同じ軸線で分析をします。

総合戦略と総合計画、総合戦略の基本目標と基本的方向及び総合計画の外構、基本構想は整合性を持たせるのは当然と前回話をさせていただきましたが、

総合戦略の中の4本の柱、①雇用の喪失 ②人の流れの喪失 ③若い世代の結婚・子育ての支援 ④現代にあった地域づくり これを総合戦略の基本的方向、総合計画の基本構想、同一のものとしていただきたいと思います。総合戦略と総合計画、ちがった政策のものについては総合計画の中でちがった柱を作って、それをもとに基本設定をつくっていくのが可能だと思うので、とりあえずは4本の柱を軸に話をすすめていきたいと考えています。戦略と計画の策定をすすめて、4本の柱とそれに付随する計画、整合性をもたせて同時に審議ができるように整理をさせていただきましたので、このように進めてよいかどうかご審議をお願いします。

Q【 委員 】

やはり総合戦略と総合計画は一応2つそれぞれ作らなければいけないというのは国からの要請ですか？

A【事務局】

総合戦略と総合計画のそれぞれの策定は今申し上げた通りですが、原則別々に搾取しろとなっています。ただ計画の中に戦略の人口減少のことなどもりこまれて、“その部分が戦略です”というのはかまわないが、一応別々に作るのが原則です。

Q【 委員 】

4本の柱は全く同じですが、計画を立てる中で戦略の問題を審議しておけばよろしいということなのですか？

A【事務局】

審議しておけばよいというのではなく、総合計画の中に総合戦略をもりこんでいけばよいということです。

【事務局】

総合戦略については、4本の柱でみきれないものについて総合計画の中でひろっていかねばならないので、審議をしていただき総合計画の中で総合戦略に必要なものを抽出して総合戦略をたてていくというイメージです。

Q【 委員 】

今後、総合計画のほうにもう少しおしりがでるといえることですか？そこに別の大きな柱がいくつか

出てきて、それに同時に議論をかさねていくということですね？

【事務局】

今後、総合計画の基本構想をたてていくなかでこの柱に含まれないものも出てくると思いますので、それはそれでまた審議いただければと思います。

【会長】

時間の限られた中で2つ同時にというのは大変なので、事務局で共通している部分は共通に審議をしていけたらということでこのような形になったと思いますけども、入口の部分でこういう進め方でいいのどうかということですので、よろしいですか？

【 委員 】

ただ1回目で配られたタイムスケジュールでいくと合わないのではないかな。総合戦略が先行して10月にまとめ、11月に村民の意見を聞く、総合計画は1月にまとめ、2月に村民の意見を聞きパブリックコメントをやる戦略と計画に数か月の差がある。並行して議論するというのはタイムスケジュール的にならないのではないかな？今回の戦略の資料の出し方はもう1回で仕上げられている、計画は草案もでてこない、議論してないのにでてくるわけもないがその辺が理解に苦しむ。

【事務局】

策定スケジュールについては今言われた通り動いているところです。戦略は年内に策定するが、その都度見直していくということになっていきますので、戦略が12月までにできた段階で計画と合わない点については、そうならないように進めていきたいが見直しをしていくということでご理解いただけますでしょうか。

【 委員 】

皆さんが、この部分をきちんと理解していないと後々まで尾をひき難しいと思うが、そもそも戦略と計画という言葉は全然ちがう。中長期的な計画があって直近に戦略があるわけだから・・・そのように理解しましたが計画は向こう10年、戦略は5年、そして地方創生の絡み、つまりお金が絡んでいっていると思うので、4本の柱の雇用、人の流れ、結婚・出産・子育て、これ全部村がお金儲けできて潤沢に儲かる村であれば人は入ってくると思う。だから戦略というように考えたらよいのかと思ったのですが。

【事務局】

戦略については国からの意向が強く年内にということで依頼されている。予算については戦略を策定した分市長村に補助金が出されるとの情報などあるので、年内で策定させていただき、人口ビジョンについては草案を作ったのでみていただき、4本の柱の中で何を中心にやっていけばよいのか委員会で決めていただき、それに基づいて戦略の具体的な草案を作っていきたいと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

【会長】

本来は別々なものですが、同時にできる部分はいっしょにやりながら、とりあえず4本の柱を中心に整合して審議していくということでよいですか？（はい）では進めさせていただきます。

【事務局】

本日の審議会で決定して頂きたいことが何点かある。まず、人口の将来展望の方向性や目標について審議をお願いしたい。

次に、4本の柱ひとつずつに中心となる施策を決めて頂きたい。具体的な細かい内容ではなく、大まかな部分を決定して頂きたい。

それに当たり、事務局から幾つかの人口ビジョンの説明をさせていただきます。

【事務局】

資料2 白馬村人口ビジョン及び白馬村総合戦略について説明した。

【事務局】

続いて、補足説明をした。

【会長】

次に、第4次総合計画の検証結果について説明をお願いします。

【事務局】

資料3、3-2について説明をした。

【質疑】

Q【委員】

資料2の1ページ目「2人口の現状分析と将来推計」の図に表記してある数値データの算出について質問した。

A【事務局】

図に表記している数値は、過去の数値は国税調査から算出したものである。

Q【委員】

2012年以降は外国人居住者も世帯数に含まれているが、将来推計の人口に外国人居住者も含むのか、それに伴い2012年以前の数値との関連はどうするのか。また、45年後の2060年の人口推計を今考えるのは難しいのではないか。

A【事務局】

国からの長期ビジョンを踏まえ将来展望を示すため、2060年の人口推計が示されている。

【委員】

資料2の1ページのデータを参考に、これからどのようなアクション起こしていくか審議していく。

Q【委員】

協議事項(3)第4次総合計画(後期計画)施策の検証結果について具体的な内容について質問があった。

A【事務局】

検証結果については、報告事項であるため参考資料として扱ってほしい。

【委員】

検証結果を第4次総合計画の委員の方にも参照して頂き、第5次総合計画をよりよいものにしたい。

【会長】

「住民ミニキャンプ」における意見について説明をお願いします。

【事務局】

「住民ミニキャンプ」における意見について説明した。

【studio-L】

会社概要と住民キャンプ、総合計画について補足説明をした。

【会長】

人口の将来展望の方向性や目標について審議したい。

【 委員より出された意見 】

- ・目標は人口増加を目指したい。
- ・ただ人口増加だけを目標に居住者を増やすのではなく、きちんと行政区にも加入してほしい。
- ・高齢者にも住みよい村づくりが必要となる。
- ・雇用に関して、高齢者の要望が雇用を生み出し、若者が暮らしていけるようになるのではないか。
- ・次世代につながる人口増加を目指すか、高齢社会を充実させ人口の減少を防ぐのか。
- ・人口増加アクションを起こし、その他の部分の減少するものを補う。(積極的現状維持)
- ・雇用があっても住民登録をしていない若者が多くいるので、しっかり白馬に定住してもらうよう促し、若年者人口を増やす。
- ・空き家を活用し、人口増加を目指す。
- ・人口減少によるデメリットを理解する必要がある。

【会長】

人口減少によるデメリットはありますか。

【事務局】

人口減少によるデメリットについて説明をした。

【 委員 】

人口増加を目標としていくなかで、観光と農業について質問があった。

【 委員 】

白馬村の観光業について説明をした。

【事務局】

まとめとして、今回の審議会でも人口増加への将来展望の方向性が決定した旨を説明し、具体的な数字については事務局で示すことにした。また、4つの柱の中心となる施策について、改めて事務局で資料を作成し、後日、委員会の皆様に送付することにした。

次いで、今後の策定スケジュールについて説明した。

4. 閉 会

【副会長】

閉会を宣言した。